

各位

会社名 株式会社ネットプライスドットコム
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 佐藤 輝英
(コード番号 3328 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二
電 話 03-5739-3350

業績予想との差異に関するお知らせ

平成26年1月30日に公表した業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年9月期 第2四半期（累計）連結業績予想値との差異（平成25年10月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,079～6,279	百万円 △187～△57	百万円 △158～△28	百万円 △88～1	円 銭 △7.88 ～0.12
今回実績(B)	5,954	△154	△134	△118	△10.17
増減額(B-A)	△325～△125	△97～33	△106～24	△119～△30	-
増減率(%)	△5.1～△2.0	-	-	-	-
ご参考:前期実績(平成25年9月期 第2四半期連結)	5,322	76	56	△24	△2.15

※当社は平成26年4月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して記載しております。

2. 業績予想との差異の理由

当社グループは、今期の戦略テーマとして「グローアウト（脱皮）戦略」を掲げ、①バリューサイクル部門とクロスボーダー部門においては、それぞれの市場での圧倒的No. 1の地位の確立、②リテール・ライセンス部門においては、スマートフォンに特化したサービス進化とエンタメ事業の拡大による収益化の実現、③インキュベーション事業においては、スマートフォンにフォーカスした新規事業開発と北米や新興国を中心とした投資育成活動（B E E N O S活動）の本格化、を進めてまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高と営業利益につきましては、Eコマース事業のバリューサイクル部門において、第1四半期に集中した買取を基に第2四半期に販売を強化し、更なる規模の拡大を実現、また、クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業」も、会員数を順調に増加させ、売上・利益ともに増加しております。一方で、リテール・ライセンス部門の「ネットショッピング事業」におけるスマートフォンに特化した施策やインキュベーション事業におけるスマートフォン領域への先行投資により、売上高が5,954百万円、営業利益が△154百万円となりました。

経常利益につきましては、第1四半期に発生したEコマース事業のクロスボーダー部門における為替差益の発生や投資事業組合運用益の発生により、△134百万円となりました。

四半期純利益に関しましては、第1四半期に発生したネットショッピング事業の固定資産にかかる減損損失と関係会社株式売却益の発生により、△118百万円となりました。

以上